

## 事務事業評価調書

事務事業名	まち案内事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正内容	機構改革による改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市まち案内事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	01	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	まち案内活動												
	目標 (どうい状態にしたいのか)	まち案内活動の活性化												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内外からの来訪者に市の魅力を発信することで、まちの再発見を促し、市民が市への愛着を深めることができる。												
(7) 事業概要	市内観光資源の案内を行うまち案内人の活動を補助する													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	大事業	02	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		263	262	263	263	263							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	836	804	817	790							
	総事業費(A+B)		1,099	1,066	1,080	1,053	1,069							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		1,099	1,066	1,080	1,053							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		1,099	1,066	1,080	1,053	1,069								
財源計(C+D)		1,099	1,066	1,080	1,053	1,069								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	特定非営利活動法人吹田歴史文化まちづくり											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 まち案内活動の実績	目標値	(単位:人)	1,600.00	1,950.00	1,827.00
			実績値	(単位:人)	2,310.00	1,344.00	
			達成度(%)		144.4	68.9	
	目標値の積算方法	過去2年間の実績値の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.46	0.80	
				一般財源(単位:千円)	0.46	0.80	
	(2) 成果指標	②	指標内容 まち案内活動の年間実施回数	目標値	(単位:回)	59.00	62.00
実績値				(単位:回)	63.00	60.00	
達成度(%)				106.8	96.8		
目標値の積算方法		過去2年間の実績値の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	16.92	18.00	
				一般財源(単位:千円)	16.92	18.00	
(3) が指標で場合を示す		①	指標内容 まち案内人の登録者数	目標値	(単位:人)	33.00	35.00
	実績値			(単位:人)	30.00	27.00	
	達成度(%)			90.9	77.1		
	②	目標値の積算方法 まち案内活動の年間実施回数を維持できる人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	35.53	40.00	
				一般財源(単位:千円)	35.53	40.00	
				達成度(%)		0.0	0.0
活動内容	成果内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	評価の説明	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
			まち案内活動については、実際にまちを歩いてその魅力に触れるというものであり、本市が取り組むシティプロモーション事業が目指す自らの住むまちに対しての誇りや愛着を醸成する観点からも本事業を継続して実施する必要性は高いものと考えられる。 今後も観光企画推進事業や情報発信プラザ事業とも相乗効果をもたらすような事業の在り方について、引き続き検討を重ねていく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	まち案内事業	事業区分	その他
事務事業番号	00238				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	00238
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

まち案内事業は実際にまちを歩くことにより、まちの魅力に触れることができることから、本市が取り組むシティプロモーション事業が目指す自らの住むまちに対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与しているものと考えられる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>まち案内活動については、市内観光資源の案内を主とし、参加者数の拡大や満足度の向上を目指し更なる内容充実が図れるように継続した補助を実施していく。また、まち案内人の高齢化により定期的な入れ替わりがある中で、最低35人以上のまち案内人を確保していかなければならず、育成の取組が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田まつり補助事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和45年度	改正内容	機構改革による改正											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田まつり運営事業補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	01	細節	10							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標(どういう状態にしたいのか)	吹田のまちづくりと自治意識の高揚を目的として開催される吹田まつりの充実を図る。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	まつりの開催により、市民相互の交流と親睦、コミュニティ活動や市内商工業の発展に寄与することを目指す。													
(7)	事業概要	7月9日(土)に市民のバンド演奏などの「市民ふれあいフェスティバル」と「ハートフルコンサートの夕べ」をメシアターで開催。7月30日(土)に前夜祭を江坂公園、千里南公園の2会場で、翌31日(日)に本祭りをJR吹田駅周辺一帯で開催。													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	大事業	02	中事業	04	小事業	02
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		11,600	11,600	12,600	12,600	12,600							
		人件費	職員数	人	1.65	1.55	1.70	1.70	2.00						
			総額(B)	千円	13,781	12,461	13,889	13,430	16,104						
		総事業費(A+B)		25,381	24,061	26,489	26,030	28,704							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		25,381	24,061	26,489	26,030	28,704							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			25,381	24,061	26,489	26,030	28,704								
財源計(C+D)		25,381	24,061	26,489	26,030	28,704									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田まつり実行委員会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	観客動員数	目標値	(単位:人)	350,000.00	350,000.00	360,000.00
			実績値	(単位:人)	350,000.00	355,000.00		
			達成度(%)		100.0	101.4		
		目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.07	0.07	
				一般財源(単位:千円)	0.07	0.07		
	②	指標内容	協賛、協力団体数	目標値	(単位:件(延べ))	469.00	471.00	463.00
			実績値	(単位:件(延べ))	471.00	463.00		
			達成度(%)		100.4	98.3		
目標値の積算方法		前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	51.08	57.21		
			一般財源(単位:千円)	51.08	57.21			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	市民主体のまつりとなるよう企画、運営する実行委員会を様々な団体から選出し構成している。また、市内大学の学生による学生部会にまつりの一部を任せすることで吹田市への愛着に寄与できている。			達成状況	市民ニーズを汲み取れる自治会が主体となって運営し、各団体からの意見を取り入れることで、市民に近いまつりが実施できている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田まつりの企画運営は、自治会をはじめとする市民団体等の各種団体により構成される吹田まつり実行委員会が行っていることで、市全体で一体感をもって実施している。財源も市からの補助金だけでなく、実行委員が協賛金を集めて実施しているところであり、市内最大のイベントとして継続させるとともに、市民のみならず観光客の集客も図れるようPRすることが必要と考える。 また、2年後の50周年に向け、企画内容の充実を図り、さらに市民のまつりとなるように改革する必要がある。					

## 事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	吹田まつり補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00239				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	00239
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本年開催48回を迎え、吹田の一大イベントとしてしっかりと根付いた事業となっている。市内各種団体により構成される吹田まつり実行委員会が実施主体となり、市民団体、企業、商店街の協力のもと企画運営を担うことで、市全体の一体感が生まれているものと考えている。          今後も持続可能な吹田まつりとなるように、事業経費の精査、事務局運営等についての課題について検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	観光企画推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	01	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民及び来訪者											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	イベント等を活用した本市への誘客企画の実施、ホームページやポスターによる魅力ある情報発信を通じて広域からの誘客を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	本市への誘客を実現し、地域経済の活性化が図られる												
(7) 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の都市魅力を市内外に発信し、広域からの集客を市内回遊につなげる事業の実施</li> <li>観光情報誌やホームページ、ポスター等を活用した情報発信</li> <li>阪急電鉄株式会社と連携した「阪急観光あるき」への参画</li> </ul>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	大事業	02	中事業	04	小事業	03
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,558	24,506	9,068	9,050	11,551							
	人件費	職員数	人	0.70	0.60	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	5,847	4,824	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		12,405	29,330	17,238	16,950	19,603							
	特定財源(C)		167	150	52	169	53							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	167	150	52	169	53							
	市負担(D)		12,238	29,180	17,186	16,781	19,550							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		12,238	29,180	17,186	16,781	19,550								
財源計(C+D)		12,405	29,330	17,238	16,950	19,603								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 一般社団法人吹田にぎわい観光協会											
			②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
			②											
<input type="checkbox"/> その他	内容	③												

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	情報発信プラザ等を活用した本市の特性をPRするフェア等の実施	目標値	(単位:回)	6.00	10.00	12.00
			実績値	(単位:回)	4.00	11.00	
			達成度(%)		66.7	110.0	
	目標値の積算方法	前年度開催数以上 (EXPOCITY内広場でのフェア含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7,332.50	822.73
				一般財源(単位:千円)		7,295.00	807.36
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	行政と様々な事業者が相互にメリットを享受できるような連携を図りながら観光施策の展開を図っている。	目標	本市の魅力を効果的に発信し、観光施策の担い手の拡充を図り、市内外からの交流人口の拡大により、地域経済の活性化につなげる。		
	②	成果内容	吹田にぎわい観光協会と鉄道事業者との連携により、情報発信プラザでのフェアの実施や、沿線各駅でのポスター掲示、8万人規模の集客を実現している万博鉄道まつりの実施につなげている。	達成状況	万博鉄道まつりの実施により、年々来場者数が増加してきている。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成27年度における市立吹田サッカースタジアムとEXPOCITYの相次ぐ開業により、本市の交流人口が大幅に増加しており、市内回遊の促進による地域経済の活性化の観点から、観光施策の重要性は非常に高いと考えられる。 また、観光施策は様々な事業者と連携することで、より大きな成果を得ることが可能であることから、今後もまち案内人や吹田にぎわい観光協会、市内各種事業者をはじめ、大阪府や北摂都市間の連携を図りながら、事業を展開していく必要がある。				

## 事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	観光企画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01645				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01645
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

- ・地域経済振興室や広報課をはじめとする庁内他部署との連携を深めることで、活動成果の拡大を図っている。
- ・まち案内事業や情報発信プラザ事業の展開により、相乗効果をもたらすことができるように努めている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市における観光施策は、「ビールと操車場のまち」・「千里ニュータウンと万博のまち」・「ガンバ大阪のあるまち」・「大学のあるまち」・「鉄道のまち」といった地域の特性を活かしたものとしており、迅速かつ柔軟な対応が可能となるよう、本市と目的を同じとする吹田にぎわい観光協会へ事業委託の形態で実施している。</p> <p>平成27年度には、市立吹田サッカースタジアムとEXPOCITYの相次ぐ開業により、本市の交流人口が大幅に増加し、本市が持つ都市魅力を効果的に発信することの重要性は更に高まり、本事業が果たす役割は非常に大きいものと考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

国は平成28年3月に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、観光施策を成長戦略と地方創生の大きな柱として位置付けており、大阪府においても来訪者数や宿泊者数の増加による経済効果と地域の活性化を目指していることから、観光に関する施策は非常に重要なものとされている。

本市においても、市立吹田サッカースタジアムやEXPOCITYの相次ぐ開業により、広域からの交流人口が大幅に増加している中で、吹田にぎわい観光協会や吹田まち案内人をはじめとする民間団体や北摂近隣市とのこれまで以上の連携強化に努め、北摂ブランドを発信していく必要がある。

## 事務事業評価調書

事務事業名	情報発信プラザ事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	01	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市情報発信プラザ、市民及び来訪者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民及び来訪者への観光情報をはじめとした都市魅力の発信												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	都市魅力の発信により、市内回遊が促進される												
(7) 事業概要	吹田市情報発信プラザの管理運営 【平成28年度、観光センター事業から名称変更】													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	大事業	02	中事業	04	小事業	04
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		10,691	8,071	17,426	16,873	17,615							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.40	0.40							
		総額(B)	千円	1,671	1,608	3,268	3,160							
	総事業費(A+B)		12,362	9,679	20,694	20,033	20,836							
	(内訳)	特定財源(C)		0	27	123	79							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	27	123	79								
	(内訳)	市負担(D)		12,362	9,652	20,571	19,954							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	一般財源		12,362	9,652	20,571	19,954	20,734							
財源計(C+D)		12,362	9,679	20,694	20,033	20,836								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 一般社団法人吹田にぎわい観光協会											
			②											
			③											
	主な委託内容		吹田市情報発信プラザの管理運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 効果的な情報発信のための各種フェア等の開催	目標値	(単位:回)	6.00	10.00	/
			実績値	(単位:回)	4.00	11.00	
		達成度(%)		66.7	110.0		
	目標値の積算方法 前年度開催数以上	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,419.75	1,533.91		
			一般財源(単位:千円)	2,413.00	1,527.91		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 情報発信プラザの来訪者数	目標値	(単位:人)	0.00	210,562.00
	実績値			(単位:人)	200,536.00	255,867.00	
	達成度(%)		0.0	121.5			
	目標値の積算方法 前年度実績の5%増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.05	0.07		
			一般財源(単位:千円)	0.05	0.07		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		全国的に注目度の高い大型複合施設であるEXPOCITY内を本市の情報発信拠点としていることで、市内外の来訪者へ本市が持つ様々な都市魅力を発信できている。今後も様々な事業者や北摂各市と連携を深めることで、更なる展示内容の充実を図り、市内回遊の促進と北摂ブランドの発信につなげていく。また、他の公共施設と大きく異なる点として大型商業施設内に設置されていることから、より一層、来訪者のニーズ把握と満足度の向上に努める必要がある。				

# 事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	情報発信プラザ事業	事業区分	その他
事務事業番号	01646				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01646
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

観光センターと比較して、施設賃借料や光熱費等の負担及び開設時間の延長による人件費等が増加している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>情報発信プラザの来訪者数はJR吹田駅前の観光センターと比較して大幅に増加しており、幅広い年齢層が訪れている。 本市の都市魅力を発信する拠点として、更なる展示内容の充実や接客スタッフのスキル向上に努める必要があると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	シティプロモーション事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正 内容																		
(2) 直近の改正																				
(3) 根拠法令等																				
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	00	細節	00													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民全体																	
	結果 (どのような効果が得られるのか)	本市に対する愛着や誇りが醸成され、市民から市の魅力が広がる状態を目指す																		
(7) 事業概要	持続的なまちの発展のために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、本市のイメージを向上させ、本市に対する愛着や誇りを醸成するための取組を実施する																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	41	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		0	0	6,632	6,239	4,174													
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	3.00	3.50	3.00												
		総額(B)	千円	0	0	24,510	27,650	24,156												
	総事業費(A+B)		0	0	31,142	33,889	28,330													
	特定財源(C)		0	0	0	0	1,480													
	(内訳)	国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	1,480												
	市負担(D)		0	0	31,142	33,889	26,850													
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		0	0	31,142	33,889	26,850														
財源計(C+D)		0	0	31,142	33,889	28,330														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	西日本電信電話株式会社																
			②																	
			③																	
主な委託内容																				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 すいたんのSNS発信回数	目標値	(単位:回)	0.00	243.00	245.00
			実績値	(単位:回)	0.00	255.00	/
		達成度(%)		0.0	104.9		
	目標値の積算方法 毎日発信(土・日・祝日・年末年始除く)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	132.90		
			一般財源(単位:千円)	0.00	132.90		
	(2) 成果指標	②	指標内容 すいたんの着ぐるみ貸出回数及びデザイン使用回数	目標値	(単位:回)	0.00	335.00
実績値				(単位:回)	305.00	340.00	/
達成度(%)			0.0	101.5			
目標値の積算方法 前年度実績の10%増		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	99.67		
			一般財源(単位:千円)	0.00	99.67		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容 すいたんツイッターのフォロワー数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00
	実績値			(単位:回)	0.00	8,000.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容		目標	平成30年度の市民意識調査で定住意向70%以上にする(平成26年度は57.8%)			
	②	成果内容	さまざまな取組を通して定住意向を高める	達成状況	市への愛着が高まる		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>平成28年度に策定した吹田市シティプロモーションビジョンの実現に向け、今後とも庁内各部はもとより、市民・事業者・大学等と連携し、情報発信ツールの開発や、調査研究等を実施する。</p> <p>市のイメージキャラクターすいたん等を効果的に活用することで本市への愛着を高めるとともに、若手職員中心の組織横断型シティプロモーション提案プロジェクトチーム「エンジン」から生まれた企画・提案を関係部局と調整し、実現に結びつけることでシティプロモーションの推進に取り組む。</p> <p>また、市民サービスの質的向上のため、プッシュ型情報提供サービスやホームページ以外の情報発信の手法を検討し情報提供の充実を図るとともに、市制80周年を迎える平成32年(2020年)は万博50周年の年でもあり、シティプロモーションを総合的に展開するため、部局間が相互に連携し、調整を図りながら盛り上げる取組を検討していく必要がある。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	シティプロモーション事業	事業区分	その他
事務事業番号	01647				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01647
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業の成果については、当室だけではなく各室課の取組によるところが大きいため、シティプロモーションに関する全庁的な意識向上を図る必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>本市のシティプロモーションは市外からの移住促進を主たる目的とせず、市民全体をターゲットとして、市に対する誇りや愛着を醸成する取り組みを実施するものとしている。今後は平成28年度末に策定したシティプロモーションの戦略的な展開に関する基本方針となる「吹田市シティプロモーションビジョン」の実現に向けた市民、事業者、大学との幅広い連携と、庁内の意識向上につながる仕掛けづくりに取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

全国的に多くの自治体が様々な手法でシティプロモーションに取り組んでいるが、競争ではなくそれぞれの強みを生かすことができるよう、北摂各市との連携を図ることが重要である。

## 事務事業評価調書

事務事業名	「地方の時代」映像祭支援事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	「地方の時代」映像祭実行委員会規約						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 04	細節 10			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	市民及び来場者					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	質の高い映像芸術に身近に触れる機会を提供することで、市民の文化への理解の高まりを目指すとともに、全国規模の祭典を本市において開催することでシティプロモーションの効果を狙う。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が文化への理解を深めることで新たな都市魅力の創造が期待される。また全国規模では唯一のドキュメンタリー映像祭典の本市での開催は、市の名を全国に広めるとともに、市民としての誇りを育むことも期待される。						
(7)	事業概要	放送局や市民、自治体、ケーブルテレビ、高校・大学生が作成したドキュメンタリー映像を募る、全国規模で唯一のドキュメンタリー映像の祭典。本市は、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、ケーブルテレビ連盟とともに主催者として参加している。毎年11月に関西大学千里山キャンパスにおいて本祭を開催し、また6月には市内の公共施設を会場にプレフォーラムを開催し、市民が身近に映像芸術に触れられる機会を提供している。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 41	大事業 03	中事業 01	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580
		総事業費(A+B)		2,671	2,608	2,634	2,580	2,611
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		2,671	2,608	2,634	2,580	2,611
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	2,671		2,608	2,634	2,580	2,611		
財源計(C+D)		2,671	2,608	2,634	2,580	2,611		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	「地方の時代」映像祭実行委員会			
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 「地方の時代」映像祭テレビ、新聞等メディア 登場回数	目標値	(単位:回)	44.00	57.00	/
		実績値	(単位:回)	57.00	61.00	
		達成度(%)		129.5	107.0	
	目標値 の積算 方法 前年度実績数値	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	45.75	16.39	
			一般財源(単位:千円)	45.75	16.39	
	② 指標内容 「地方の時代」映像祭コンクール出展作品数	目標値	(単位:作品)	225.00	294.00	
実績値		(単位:作品)	294.00	325.00		
達成度(%)		130.7	110.5			
目標値 の積算 方法 前年度実績数値		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	8.87	3.08	
			一般財源(単位:千円)	8.87	3.08	
(2) 成果指標		① 指標内容 「地方の時代」映像祭来場者数(本祭)	目標値	(単位:人)	3,034.00	3,416.00
	実績値		(単位:人)	3,830.00	3,598.00	
	達成度(%)		126.2	105.3		
	目標値 の積算 方法 過去3年の平均来場者数(1日平均)×開催 日数	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.68	0.28	
			一般財源(単位:千円)	0.68	0.28	
	② 指標内容 「地方の時代」映像祭プレ企画 連続フォーラム来場者数(メシアター開催 分)	目標値	(単位:人)	374.00	375.00	/
実績値		(単位:人)	332.00	315.00		
達成度(%)		88.8	84.0			
目標値 の積算 方法 過去3年の平均来場者数(1日平均)×開催 日数		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	7.86	3.17	
			一般財源(単位:千円)	7.86	3.17	
(3) 困難な場合 を示す		① 活動内容				
	② 成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明	<p>本映像祭は、テレビや新聞等でも度々取り上げられるなど、全国的に知られ、注目度の増している祭典である。コンクールへの応募作品数はここ2年連続で過去最多を更新している。</p> <p>映像祭には、全国から優れたドキュメンタリー映像作品が集まることから、市民が質の高い文化芸術に触れられる機会となっている。また、プレフォーラムは出演者と観客との距離が近く、市民が映像芸術に対する親しみや関心を高める機会となっている。さらに、このようなイベントが本市において開催されることは、市民としての誇りや市への愛着心の醸成にも寄与するものと考えられ、その重要性は高い。</p> <p>今後は、主催者間でより連携しながら、市民が本映像祭への関心を高める方法を検討していく。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	「地方の時代」映像祭支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01648				

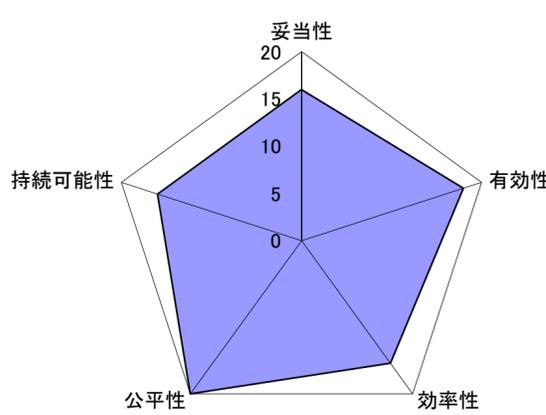
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01648
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>全国規模で唯一のドキュメンタリー映像の祭典として、多くの作品応募があり、毎年11月に関西大学千里山キャンパスで開催されるイベントには、全国から多くの方々が来場します。平成28年度には来場者数、出展作品数が過去最高となり、メディアからの注目度も高まっています。</p> <p>また、11月の本祭に先立ってメイシアター小ホールにおいて開催しているプレ企画にも毎年多くの方々にご来場いただいております、固定のファンも定着するようになってきました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	大学のあるまちづくり事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山葉子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正内容	事業担当室課の変更に伴い、吹田市・大学・研究機関連携協議会設置要領を改定。																	
(2) 直近の改正	平成28年度																			
(3) 根拠法令等	各大学・研究機関と吹田市との連携協力に関する基本協定書、吹田市・大学・研究機関連携協議会設置要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	20													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	市民、事業者、大学・研究機関(学生)																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	本市に所在する各大学・研究機関との連携を図ることにより、これらによるネットワークを推進する。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民や学生の地域への関心・愛着を高める。																		
(7) 事業概要	市内の各大学および大学教育機能をもつ研究機関(国立民族学博物館)と連携を図ることで、各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報力、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展に寄与する取組を進める。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	41	大	事	業	04	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		30	0	30	0	8													
	人件費	職員数	人	0.20	0.00	0.50	0.50	0.50												
		総額(B)	千円	1,671	0	4,086	3,950	4,026												
	総事業費(A+B)		1,701	0	4,116	3,950	4,034													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
	(内訳)	市負担(D)		1,701	0	4,116	3,950	4,034												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		1,701	0	4,116	3,950	4,034														
財源計(C+D)		1,701	0	4,116	3,950	4,034														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	大学との連携推進協議会の開催	目標値	(単位:回)	8.00	10.00	10.00
			実績値	(単位:回)	8.00	8.00	
			達成度(%)		100.0	80.0	
	目標値の積算方法	各大学との連携協議会における覚書に基づき、年2回ずつ開催	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	各大学講義への職員講師派遣回数	目標値	(単位:回)	30.00	30.00	33.00
			実績値	(単位:回)	30.00	33.00	
			達成度(%)		100.0	110.0	
	目標値の積算方法	前年度実績 (関西大:K群講座14回、大阪学院大:公共政策研究13回、キャリアデザイン前後期2回ずつ、PBL2回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携推進協議会は、予定どおり実施することができました。様々な意見交換や情報共有を通じ、相互の連携体制の強化に資する取組となっています。また、市職員が講師を務める大学講義では、啓発や本市への理解を広めることにより市政参画への関心・意欲向上に関して一定の効果を上げています。なお、今年度、大阪学院大学でのPBL形式の講義が新たに追加となったほか、共同研究の実施、教員による市民公開講座の開講、広報活動の協力など様々なシーンでの連携を進めています。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	大学のあるまちづくり事業	事業区分	その他
事務事業番号	01649				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01649
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市には5つの大学と1つの研究機関(大学の研究科の設置あり)が立地し、名実ともに「大学のあるまち」となっています。各機関が有する知的・人的・物的資源や学生の活力は、行政課題の解決や地域の活性化に大きく貢献するなど、まちづくりには欠かすことができない要素となっており、ひいては本市のブランド力をけん引する力を持つ大きな存在です。今年度は連携推進協議会をはじめ、共同研究の実施、職員による大学授業の拡充、広報活動の協力など様々なシーンで各機関との連携を進めることができました。引き続き連携強化に向けた検討を進めてまいります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)